

「まもるちから」で広報活動

自衛隊札幌地方協力本部は、令和7年7月5日（土）・6（日）札幌ステラプレイスで開催した「まもるちから」において広報活動をおこないました。

「まもるちから」は、札幌ステラプレイス9階「そらのひろばステラ9」、テーマ「地域とともに信頼と安心を築く自衛隊イベント」として、屋外で来場者が楽しめる「縁日」のようなコンテンツを展開、地域住民（北海道民、札幌市民）に対する自衛隊に対する理解、頼りがいと親近感の醸成を目的としたイベントです。

広報ブースでは、約300名訪れ、装備品展示と装着体験、グッズ等の配布、バッジ作り体験、南極の氷、VR体験、制服等の試着をおこなうとともに、場の盛り上がりをリアルタイムにSNS発信しました。

装備品展示は、第11特殊武器防護隊から化学防護衣4形、18式個人用防護装備、本部からオートバイ（偵察用）を展示し、18式個人用防護装備マスクと防護衣の装着体験をおこないました。

本活動にあたり、北部地区隊と南部地区隊の広報官と総務課、援護課、予備自衛官課が一体となり、希望者に対する自衛隊の説明やパンフレットの配布、イベント案内のアンケート収集をおこなうなど自衛隊や札幌地本の活動にご理解をいただきました。

札幌地本は、引き続きさまざまな広報活動をおこない、自衛隊をより身近に感じていただけるような活動を継続していきます。



防護衣等の装着体験



南極の水



制服等の試着



制服等の試着 (2)



リアルタイムにSNS発信



来場者が書いてくれた広報官の似顔絵